

柿田川 湧水だより

令和7年4月 発行
柿田川湧水保全の会

長崎県島原市で開催された「名水サミット in しまばら」に参加しました。



(上) 浜の川湧水にて
(下) 清流邸の見学



令和6年8月24日及び25日に長崎県島原市にて開催された名水サミットに参加しました。

1日目のシンポジウムでは、地元の名水紹介があり、名水が人々の生活や文化に密接に繋がっていることを詳しくご説明いただき、個人にとどまらず地域ぐるみで保全に取り組み、未来にその価値と恩恵を伝えたいという思いが素晴らしいと感じました。

2日目の名水見学ツアーでは、大きな河川が無い島原半島において随所にある湧き水は、古くから生活に欠かせない水として有効に利用する方法が生まれるとともに、現存する江戸時代の武家屋敷の家並みにも溶け込み、今も流れる清流をご紹介いただきました。

武家屋敷と湧き水



令和7年度名水サミットは、11月8日から9日にかけて神奈川県秦野市で開催される予定です。次回も多くの皆様のご参加をお待ちしています。

※名水サミットは、名水百選として環境省が認定した名水のある市町村で構成される「全国水環境保全全国市町村協議会」の全国大会として行われるものです。

「開かれた保全」を目指して

柿田川湧水保全の会 会長 石垣 雅雄

柿田川が1985年に「名水百選」に選定されて、今年で40年を迎えます。また日本三大清流にも名を連ね、国の天然記念物にも指定されています。この間、国・町や多くの方々の尊い献身によって、柿田川の保全が進められてきました。

一方、昨年度から町の主催する「柿田川を語る会」に参加していますが、柿田川が町民にとって“近寄り難い存在”になりつつあるのではとの声が話題になりました。近隣の方からも、郷土の川についてあまりよく解っていない、貴重な観光資源をもっと町民のために活用できないか等の声も聞かれます。昨年度参加した「名水サミット in しまばら」では、地元民と名水が密接に繋がっている様子を実感しました。かつて柿田川が子どもたちの遊び場であり、冷たい水に身をすくめて泳いだ記憶は、今は昔となった感があります。

当然、生態系の問題もあります。その中で「保全」と「活用」という相対する価値観をどう調和させ、皆に親しまれる柿田川にしていくか、知恵を出し合い、模索していくことが求められています。「開かれた保全」を目指してまいりたいと思いますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

柿田川清掃活動

湧水保全の会では、例年、柿田川周辺の清掃活動を行っています。

令和6年度においても、7月21日と令和7年3月15日の2回実施し、それぞれ200人を超える大勢の方々のご参加があり、町民の関心の高さが伺えました。中高生にも清掃への協力を呼びかけておりますが、回を重ねる毎に参加者が増加しており、大変頼もしく思っています。

作業は、特定外来生物「ノハカタカラクサ」の駆除を中心に柿田川公園内で行われました。

ノハカタカラクサは、大変繁殖力が強く小さな株や根などから再生してしまうため、今後も夏と春の年2回、引き続き根気強く駆除作業を行っていく予定です。

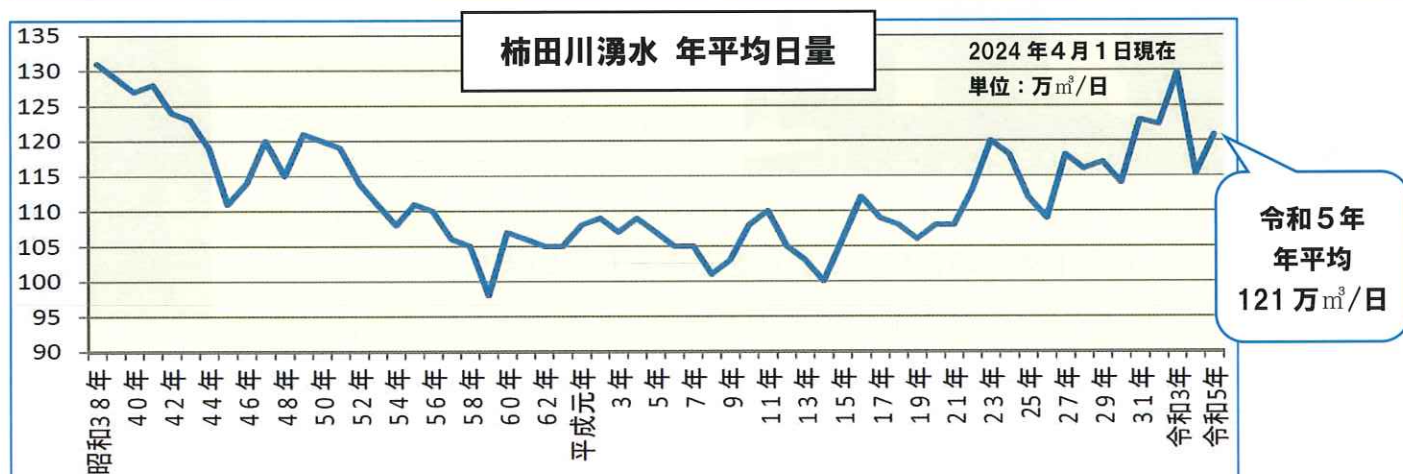
皆様のご協力をお願い申し上げます。



ノハカタカラクサ
群生の様子



ご家族連れでのご参加もいただき、若い世代の参加が活動に勢いと活力を与えてくれます。



出典 沼津河川国道事務所ホームページ 「柿田川の環境を守る」より

富士山植樹

湧水保全の会は、柿田川の水源涵養のための森づくりを行う「柿田川・東富士の地下水を守る連絡会」の参画団体として、富士山植樹に参加しています。

植樹は、毎年4月29日に行います。皆様のご参加をお願いします。

柿田川自然再生検討会

国土交通省が主催し、地域や自治体、行政、関係する機関が一体となり、協働して柿田川の自然環境を保全・再生できるように「柿田川自然再生計画」を作成しています。

毎年、検討・評価を行い、柿田川の自然環境保護活動に努めています。

湧水保全の会では会員を募集しています！

柿田川を守っていくために、私たちと一緒に活動しませんか？（年会費1,000円）

【問い合わせ】 清水町役場 都市計画課 公園みどり係

TEL 055-981-8224（直通）